

# 清らかな源流の里 県南農林だより

第9号



【白河甲冑だるま】

## 農林業関係の動き

### ■「平成27年度第2回県南地方農業再生協議会連携会議」



会議開催の様子

11月30日(月)、県白河合同庁舎において、各市町村農業再生協議会、JA、東北農政局福島支局、公益財団法人福島県農業振興公社、県農林水産部農業担い手課、および県南農林事務所による本年度2回目の連携会議を開催しました。

会議では、県農業担い手課から、ふくしま型集落営農と人・農地プラン及び農地中間管理事業の

総合的な推進の考え方について説明を受けた後、各市町村の本年度の推進状況と今後の計画(集落営農の推進、人・農地プランの作成・更新、農地中間管理事業の推進等)について情報交換を行いました。

また、農地中間管理事業の推進について、農業振興公社と農業担い手課から説明を受けました。

その後、市町村毎にサポートチームの打合せを行い、今後の担い手の育成・確保と集落営農、農地中間管理事業の推進等について具体的に検討しました。(農業振興普及部)

## 目次

### 農林業関係の動き

- ◇農業再生協議会連携会議
- ◇ふくしま森林再生事業の労働力確保に向けた意見交換会
- ◇苗木のスクールステイ
- ◇ブロッコリー生産振興セミナー
- ◇THE しらかわビュッフェ

### コラム

- ◇県南地方の農業施設の紹介
- ◇企業による森林整備活動

### お知らせ

- ◇米の全量・全袋検査
- ◇しらかわ地方集落営農・えさ米セミナー
- ◇ヤングファーマー経営カステップアップセミナー
- ◇グリーン・ツーリズム先進地視察研修会
- ◇穀類の出荷・販売について

### ■ふくしま森林再生事業の労働力確保に向けた意見交換会



森林整備の現地研修

12月2日(水)、森林管理署、市町村、林業事業体等による第3回目となる労働力確保に向けた意見交換会を開催しました。

震災以降整備が停滞した森林の再生を図るため、平成25年度から開始されたふくしま森林再生事業は、今年度からは管内全9市町村で実施されています。

平成26年度の管内の森林整備面積は、前年比で約5割増と大きく回復しました。

しかしながら円滑に事業を推進するうえで労働力不足が大きな課題となっています。

今回は、円滑な事業実施のため、県及び市町村からは今後の事業計画や労働力確保対策についての説明、林業事業体から

は労働力の現状報告などについて意見交換を行い、事業現場の状況を確認するため、白河市が実施している森林整備の現地研修を併せて実施しました。(森林林業部)

## ■「苗木のスクールステイ」に取り組んでいます



ポットへのドングリまき

平成30年「第69回全国植樹祭」が福島県南相馬市で開催されることが決定しました。

「苗木のスクールステイ」とは、小学生に地域で採取したドングリから苗木を育ててもらい、その苗木を全国植樹祭会場への植樹や管内の緑化推進のために活用する取組です。

今年度、県南管内では、1市2村14の小学校で取り組んでいただきました。

児童は、もりの案内人からの「ドングリを食べるリスやネズミ」の話に笑顔になったり、ドングリにいるゾウムシの幼虫を見て驚いたりしていました。

その後、真剣な様子でポットにドングリをまき、これから一生懸命ドングリの世話をすると笑顔で話してくれました。(森林林業部)

## ■「ブロッコリー生産振興セミナーin県南」を開催



セミナー開催の様子

12月8日(火)、白河市においてブロッコリーの生産・流通の知識を高めるためブロッコリー生産振興セミナーを開催し、県南地方の生産者、JA職員や農業短期大学の学生ら約130名が参加しました。

セミナーでは、JA全農青果センター(株)神奈川センターの小野俊明氏から「市場から産地に期待すること」、(株)アースコーポレーションの菊地利正代表から「GAP導入の重要性とブロッコリーでのGAPの取組事例の紹介」、(株)サカタのタネの船曳知明氏から「品種特性と栽培のポイントについて」と題

して講演をいただきました。

また当所農業振興普及部から「今後のブロッコリー生産振興に向けた課題と対策について」と題して、今年度取り組んだ高温対策技術等について報告しました。

参加者からは、次年の作付けに向けて意欲が高まった、との声も聞かれ、有意義なセミナーとなりました。(農業振興普及部)

## ■「THE しらかわビュッフェ」の開催



ビュッフェの様子  
(左端が本田先生)

12月14日(月)～16日(水)にかけて、福島県のアンテナショップである「日本橋ふくしま館MIDETTE」において、県南地方を代表する特産品を使った料理をビュッフェ形式で提供しました。

料理メニューの提案と実際の調理は泉崎村出身の料理家である「本田よう一先生」に協力いただきました。

1日50食限定でランチタイムのみの提供でしたが、3日間ともラストオーダーの時間を待たずにして完売となり、お客様からの評判も大変よく、また開催してほしいとの声を頂きました。

なお、料理のレシピを掲載したカードを作成しましたので、興味のある方はぜひ県南農林事務所企画部までお問い合わせください。(企画部)

## ■県南地方の農業施設の紹介【第5回】「明治堰と明治堀」



明治堰

現在の西郷村一帯は、古くから利水の便に乏しいことから、江戸時代までは目立った産業が無く、採草・放牧地として利用されるのみでした。

明治時代を迎えると大小様々な開墾が行われ、明治22年には阿武隈川(西郷村真船地区)を水源として、明治堰と明治堀(用水路)の建設工事が行われました。

この工事は全長9kmにも及ぶ大規模なものでしたが、2カ月程度で完成しました。

しかし、その工事費は個人の投資や県からの借入金に頼らざるを得ず、堅固な構造とすることができませ

んでした。

そのため、補修などの維持管理の負担が大きく、更には度重なる水害・凶作に見舞われ、地域の人々の生活はなかなか安定しませんでした。

戦後になって、大規模な補強工事が継続的に行われ、用水が安定的に供給できるようになり、営農環境が向上しました。

明治堰は昭和61年の集中豪雨で大きな被害を受けましたが、災害復旧事業や県営事業により改修され、現在も西郷村の120haの農地へ安定的に水を供給しています。(農村整備部)



明治堀

## ■企業による森林整備活動と二酸化炭素吸収量の認証について



常磐興産(株)による森林整備活動

福島県では、平成21年度より県内の森林で社会貢献活動として企業や団体等が実施した植栽や下刈り、間伐などの森林整備活動の成果を二酸化炭素吸収量に換算し、認証する取組を行っています。

これは、企業・団体等による森林整備活動の参画を促進し、森林の持つ様々な機能を発揮させながら地域の活性化を図ることを目的とするものです。

県南管内の状況としては、昨年度、常磐興産(株)(いわ

き市常磐湯本町)が実施した、埜町の社有林に植栽した広葉樹の下刈りなどの森林整備活動について、その成果を1.79トン/年の二酸化炭素吸収量に換算し認証しています。

今年度は、常磐興産(株)で引き続き森林整備活動に取り組んでいただいているほか、住友ゴム白河工場(白河市)でも工場に隣接する社有林に広葉樹を植栽する森林整備活動を行って

おり、今後、二酸化炭素吸収量の認証申請が行われる予定となっています。(森林林業部)



住友ゴム白河工場による森林整備活動

# お知らせ

## ■平成27年産米の検査結果について

福島県では、県内で生産した全ての玄米について、全量・全袋検査を実施し、食品衛生法に定める一般食品の基準値(100ベクレル/kg)以下であることを確認し出荷しています。

県南地方では、12月末時点で「1,439,601」点検査し、全て基準値以下でした。

詳細は、ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページをご覧ください。



(企画部)

## ■「平成27年度しらかわ地方集落営農・えさ米セミナー」の開催

県南地方の「集落営農」や「エサ米(飼料用)生産・利用」の推進を目的にセミナーを開催します。

管内の農業者、関係機関・団体の皆様の参加をお待ちしています。(農業振興普及部)

○日時:平成28年2月10日(水)14:30~15:30

○場所:JAしらかわ セレモニープラザ

○お問い合わせ先

☎0248-23-1562(地域農業推進課)

## ■「第2回ヤングファーマー経営カステップアップセミナー」の開催

講師に、有限会社マネジメントコア代表取締役「小針俊郎」氏(中小企業診断士、社会保険労務士、行政書士)をお招きし、「経営発展に必要な雇用と労務管理」についてのセミナーを開催します。

県南管内の青年農業者の皆様の参加をお待ちしています。(農業振興普及部)

○日時:平成28年1月21日(木)14時~16時

○場所:白河市役所表郷庁舎2階大会議室

○お問い合わせ先

☎0248-23-1565(経営支援課)

## ■平成27年度県南地方グリーン・ツーリズム先進地視察研修会の開催

福島県のグリーン・ツーリズム先進地である喜多方市を訪れ、「農家民宿」に宿泊しながらの受け入れ方法等について直接学びます。

グリーン・ツーリズムに興味のある方の参加をお待ちしています。(企画部)

○日時:平成28年2月22日(月)~23日(火)

○場所:喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター、喜多方市内の農家民宿

○お問い合わせ先

☎0248-23-1576(地域農林企画課)

## ■穀類の出荷・販売についてのお願い

平成27年産大豆・小豆・秋そば・雑穀のモニタリング検査は、旧市町村ごとに実施します。

モニタリング結果が出ていない旧市町村産のものは、出荷・販売はなさないようお願いします。

★旧市町村ごとの出荷可能の状況は、農林水産部水田畑作課のホームページで確認できます。

福島県水田畑作課

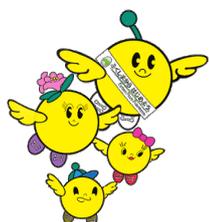
検索



★雑穀の旧市町村ごとの出荷可能の状況は、県南農林事務所のホームページで確認できます。

福島県県南農林事務所

検索



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください!

福島県県南農林事務所 企画部

〒:961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577

平成28年1月15日発行



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.